



2025 年 3 月 31 日

農林中央金庫

国際学会におけるオフセットに向けたワンストップでの 農林水産業由来のカーボンプレジット調達支援について

農林中央金庫(代表理事理事長:奥和登、以下「当金庫」)は、日本 LCA 学会主催の国際会議「[EcoBalance2024](#)」(2024 年 11 月 3 日～7 日、以下、「本会議」)の開催に伴う温室効果ガス(以下、「GHG」)排出の一部オフセットを目的とした農林水産業由来のカーボンプレジットおよび環境配慮食材の調達を会員、提携業者との連携によってワンストップで支援しましたのでお知らせいたします。

1 背景・経緯

当金庫は、「カーボンニュートラル社会の実現」「自然資本への貢献」「生産者所得の向上」を目的として、2023 年 11 月に国内の農林水産業由来のカーボンプレジットの媒介を開始し([当金庫プレスリリース](#)参照)、会員や提携企業との連携によって、クレジットの創出からお客様のニーズに合わせたクレジットの流通までを支援してきました。

一方で、日本 LCA 学会は、ライフサイクルアセスメント(以下、「LCA」)による環境評価の手法開発と実装について議論を深める国際学会「EcoBalance」を 1994 年から隔年で主催し、第 16 回目となる本会議は開催地の東北を中心とした環境保全への貢献や参加者の機運醸成をコンセプトに、開催に伴う CO2 排出を農林水産業由来のカーボンプレジットでオフセットすることや、それに関連する食材をバンケットの料理として提供することを検討していました。

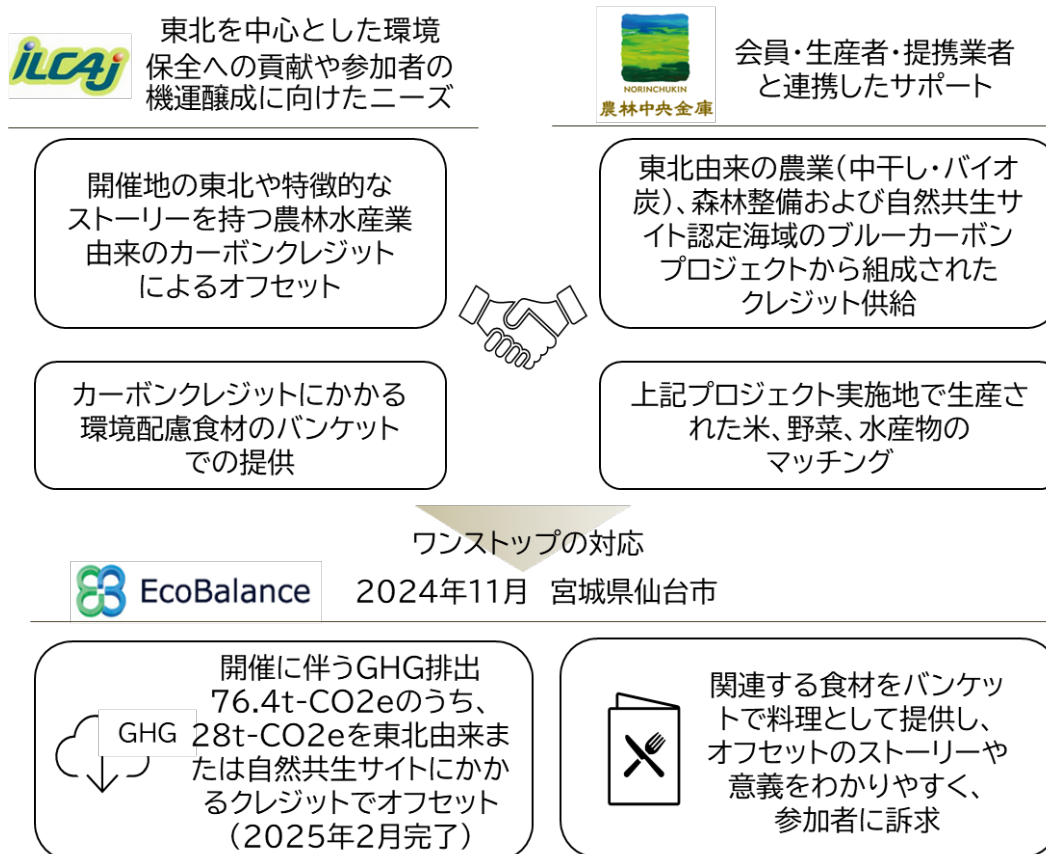
2 当金庫によるサポート

LCA にかかる国際会議として、単なるオフセットに留まらず、開催地の環境保全や参加者の機運醸成に向けて、ストーリー性あるカーボンプレジットを供給し、バンケットでの料理等を通じてわかりやすく伝えるという本会議のコンセプトに対して、当金庫は会員や提携業者との連携やネットワークによって、ワンストップでサポートしました。

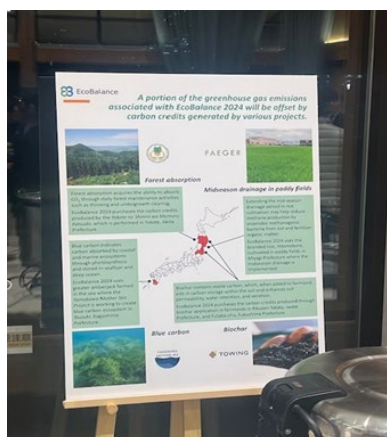
具体的には、本会議の開催地が宮城県仙台市であったことを受けて、東北地方における水田中干し、バイオ炭、森林整備のプロジェクトにより創出された J-クレジットとともに、プロジェクト実施地で生産された米、野菜の供給をマッチングしました。また、全国でも希少な自然共生サイト認定海域(鹿児島県指宿市)におけるブルーカーボンプロジェクトで創出された J ブルークレジットとともに、隣接する海域で養殖されたカンパチの供給もマッチングしました(なお、当金庫による J ブルークレジットの媒介は本件が初となります)。そして、このたび 2025 年 2 月に、会員・提携業者と日本 LCA 学会間のクレジット取引の紹介・媒介およびオフセットが

完了しました。

本件のスキーム図



バンケット会場での調達クレジットの説明、料理での訴求(写真撮影:当金庫)



3 今後の展望

本会議をはじめ国内外の参加者が訪れる国際会議やイベントにおけるオフセットは、農林水産業由来のカーボンのクレジットの意義等をわかりやすく発信する効果的なアプローチとして当

金庫は認識しており、お客様のニーズに応じて今後も対応してまいります。

当金庫は、パーパス(私たちの存在意義)を、「持てるすべてを「いのち」に向けて。～ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます～」と定めており、パーパスの実現に向け、カーボンクレジット等のソリューション開発を通じて、環境・社会課題の解決に取り組んでまいります。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
農林中央金庫 コーポレートデザイン部 広報コミュニケーション班
(宮澤・藏方) Tel: 03-6362-7172